

中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年組番	1問 5点
人権と共生社会② これからの人権保障		名前	／100

①	さんせいけん 参政権	国民が政治に参加する権利
②	せんきょけん 選挙権	満18歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利
③	ひせんきょけん 被選挙権	選挙に立候補する権利
④	せいがんけん 請願権	国などに要望をする権利
⑤	さいばん う けんり 裁判を受ける権利	誰もが裁判所による裁判を受けられる権利
⑥	こくぱいしやうせいきゅうけん 国家賠償請求権	国や地方の公務員の不法行為で受けた損害に対して、 賠償を求める権利
⑦	けいにほしやうせいきゅうけん 刑事補償請求権	裁判の無罪判決に対し、国に保障を求める権利
⑧	こうきやう ふくし 公共の福祉	社会全体の利益を意味する、人権の限界や制限
⑨	こくみん ぎ む 国民の義務	日本国憲法が定める、「子どもに普通教育を受けさせる義務」・ 「勤労の義務」・「納税の義務」の三つ
⑩	かんきやうけん 環境権	住みやすい環境を求める権利
⑪	かんきやう 環境アセスメント	大規模な開発を行う場合に、事前に環境への影響を調査すること
⑫	じ こ けつていけん 自己決定権	人間が、自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利
⑬	インフォームド・コンセント	自己決定権のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に説明し、患者の同意を得ること
⑭	し けんり 知る権利	国民が、国や地方の情報を手に入れる権利
⑮	じやうほうこうかいせいど 情報公開制度	国や地方が、人々の請求に応じて情報を開示する制度
⑯	プライバシーの権利	私生活に関する情報を公開されない権利
⑰	こじんじやうほうほ ぎ せい ど 個人情報保護制度	国や地方、民間の情報管理者に、 個人情報厳重に管理することを義務付けた制度
⑱	せ かい じんけんせんげん 世界人権宣言	1948年に国際連合で採択された、人権の尊重に関する宣言
⑲	こくさいじんけんきやく 国際人権規約	1966年に国際連合で採択された、 世界人権宣言に法的拘束力を持たせた条約
⑳	NGO(ひせいふそしき 非政府組織)	国際的な人権保障を実現するため、 国境をこえて活動する非営利の民間組織